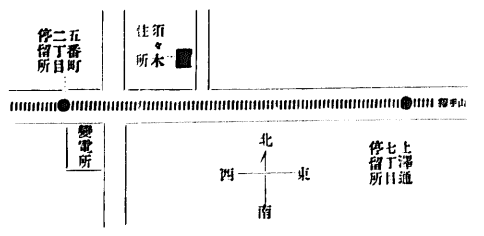


10.11.2  
 須々木  
 五番町

此度都合に依り従來の營業をやめまし  
 て同時に左記の所に轉居致しました  
 營業中の御引立に對して御厚情御禮申  
 上げます共に轉居の御披露を申上ます  
 尙住所は略圖の通りで御座います故御  
 通りかゝりの節は何卒御立寄り下さい  
 大正十二年二月

五番町登丁目一三六  
 須々木純一



大正十一年  
 十月度 神戸岩傷界

○川は造船  
 其の後解雇者多きやなり。従て小康を保ちつ、  
 身、それと東月村才長昭れとのりて、  
 向敷者起て、  
 不相交、組合撲滅方針ととり戻る。指さる。造船  
 界の職工百数十名に、  
 十月五日曜日の、  
 式と祭なり、  
 不玉雄依の、